
2017年度第1四半期 決算説明会資料

2017年8月1日

日新製鋼株式会社

呉製鉄所 第1高炉拡大改修および 第2高炉の休止時期の延期について



呉製鉄所 第1高炉拡大改修および第2高炉の休止時期の延期について

◇ 経緯

子会社化が完了した2017年3月13日以降、当社と新日鐵住金とで連携施策検討を加速



新日鐵住金が持つ高炉長寿命化に関する設備技術や操業技術を移転し、活用することで呉1・2高炉の稼働期間を延長できると判断

◇ 内容

第一高炉拡大改修を2023年度末を目途に延期。その後第2高炉を休止

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
当初予定	○	延期			○



足下の投資余力を拡大し、コア製品戦略投資を加速

コア製品戦略の実現による収益力・財務体質強化の早期具現化

良好な収益環境下での高炉改修投資を実現

2017年度第1四半期 決算の概要



2017年度第1四半期決算

概況

- ✓ 国内鋼材需要は建築や自動車などの需要分野が堅調を維持。輸出市場も比較的堅調に推移。
- ✓ 昨年度来の原料価格高騰による販売価格への転嫁遅れの解消に向け、お客様のご理解を得ながら原料高騰分を反映させる取り組みに尽力し、また生産面においては、昨年度に生じた設備トラブルの解消および安定供給体制の確立を推進。
- ✓ 実力ベースの連結経常損益については、新日鐵住金子会社化による償却方法変更(▲13億円)、販売価格転嫁遅れの未解消部分の影響等もあり、▲14億円となったが、在庫影響60億円により決算ベースの経常利益は46億円を確保。対前年同期比+59億円の増益となった。
- ✓ ステンレスに関しては、販売価格改善や安定生産・品質改善等の取り組みにより、30億円の連結経常利益を計上し、対前年同期比+55億円の増益となった。

2017年度第1四半期決算

(億円)

		No	2017年度 4-6月期 a	2016年度 4-6月期 b	差異 a-b
売上高		1	1,487	1,194	293
営業利益		2	36	2	34
経常利益	普通鋼・特殊鋼	3	16	12	4
	ステンレス	4	30	▲ 25	55
	計	5	46	▲ 13	59
親会社株主に帰属する 当期純利益		6	32	▲ 15	47

在庫評価	普通鋼・特殊鋼	7	40	▲ 15	55
	ステンレス	8	20	▲ 15	35
	計	9	60	▲ 30	90

<実力ベース>

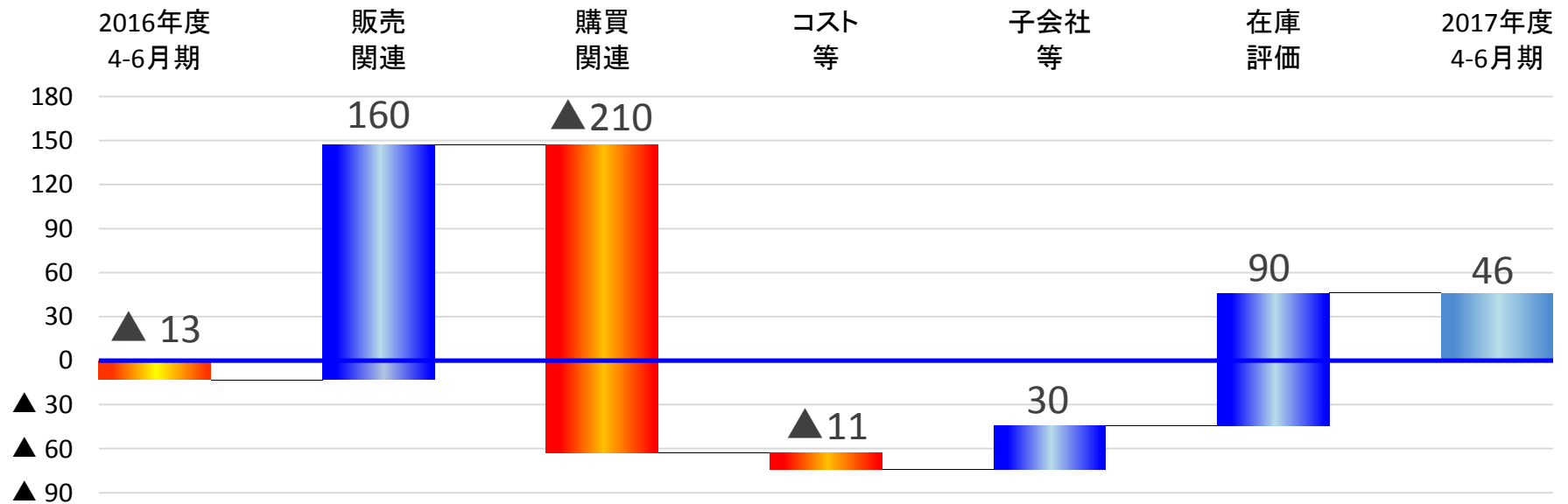
経常利益	普通鋼・特殊鋼	10	▲ 24	27	▲ 51
	ステンレス	11	10	▲ 10	20
	計	12	▲ 14	17	▲ 31

2017年度第1四半期諸元

		No	2017年度 4-6月期 a	2016年度 4-6月期 b	(億円) 差異 a-b
粗鋼生産量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	1	72	68	4
	ステンレス	2	17	18	▲ 1
	計	3	89	86	3
販売数量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	4	75	70	5
	ステンレス	5	13	12	1
	計	6	88	82	6
鋼材平均単価 (千円/トン)		7	126	109	17
輸出比率 (金額ベース, %)		8	16	15	1
輸出為替レート (円/ドル)		9	111	108	3

経常利益差異内訳

2016年度4-6月期(実績):2017年度4-6月期(実績)



(億円) (内普・特) (内ステンス)

2016年度4-6月期 (実績)		▲ 13	変動要因	12	▲ 25
変動要因	販売関連	160	価格差 130、数量構成差 25、輸出為替差 5	110	50
	購買関連	▲ 210	鉄鉱石▲35、石炭▲85、油類▲5、ニッケル原料▲20、 カドム▲35、輸入為替差▲20	▲ 155	▲ 55
	コスト等	▲ 11	減価償却方法変更影響▲13	▲ 6	▲ 5
	子会社等	30	海外グループ会社等	0	30
	在庫評価	90	▲30→60 (内ステンス▲15→20)	55	35
計		59		4	55
2017年度4-6月期 (実績)		46		16	30

貸借対照表(2017年6月末)

(億円)

		対'17/3末	主な内訳
現預金	134	▲ 32	
売上債権	753	147	
たな卸資産	1,505	183	
その他流動資産	304	▲ 178	
有形・無形固定資産	2,887	13	
投資等	1,552	▲ 59	
資産合計	7,138	74	

有利子負債	2,434	▲ 15	
その他の負債	2,396	45	
負債合計	4,831	29	
資本金・資本剰余金	1,063	—	
利益剰余金	816	45	配当▲5、当期純利益+32、新規連結+18
自己株式	▲ 5	▲ 0	
その他の包括利益累計額	289	▲ 13	
非支配株主持分	142	13	
純資産合計	2,306	44	
負債・純資産合計	7,138	74	

2017年度業績予想

概況

- ✓ 製造業の回復基調や東京五輪関連の需要本格化など、鋼材需要は今後も堅調に推移すると見込むが、中国の粗鋼生産量の増加や米国の保護貿易的な施策など、懸念される要因も見られる状況。
- ✓ 係る状況下、通期の業績については、連結売上高6,200億円、連結経常利益は160億円と、対前期比増収増益を見込む。なお、本業績予想は新日鐵住金子会社化による償却方法の変更(▲50億円)を含んでいる。
- ✓ 引き続き原料価格上昇分を販売価格に反映させる活動に注力するとともに、当社独自のコア製品のマーケット開発と拡販を図っていく。また、生産面では当期は安定供給を重視した操業を見込んでいるが、今後は新日鐵住金の協力を得つつ、操業改善に努めていく。
- ✓ 新日鐵住金との連携に関して、「事業戦略会議」を設置。現在、様々な検討を推進中。なお、本業績予想に同社とのシナジーは織り込んでいない。
- ✓ 海外の関係会社に関しては、足元の業績は堅調ではあるものの、冒頭の懸念要素等もあり、下期にかけては慎重に業績を見込んでいる。

2017年度業績予想

(億円)

	No	2017年度(予想)			2016年度 (実績) d	
		上期 a	下期 b	c		
売上高	1	3,100	3,100	6,200	5,255	
営業利益	2	135	45	180	78	
経常利益	普通鋼・特殊鋼	3	90	30	120	104
	ステンレス	4	45	▲ 5	40	▲ 45
	計	5	135	25	160	59
親会社株主に帰属する 当期純利益	6	80			16	

差異	
① b-a	② c-d
0	945
▲ 90	102
▲ 60	16
▲ 50	85
▲ 110	101

在庫評価	普通鋼・特殊鋼	7	45	▲ 15	30	25
	ステンレス	8	25	▲ 5	20	▲ 35
	計	9	70	▲ 20	50	▲ 10

▲ 60	5
▲ 30	55
▲ 90	60

<実カベース>

経常利益	普通鋼・特殊鋼	10	45	45	90	79
	ステンレス	11	20	0	20	▲ 10
	計	12	65	45	110	69

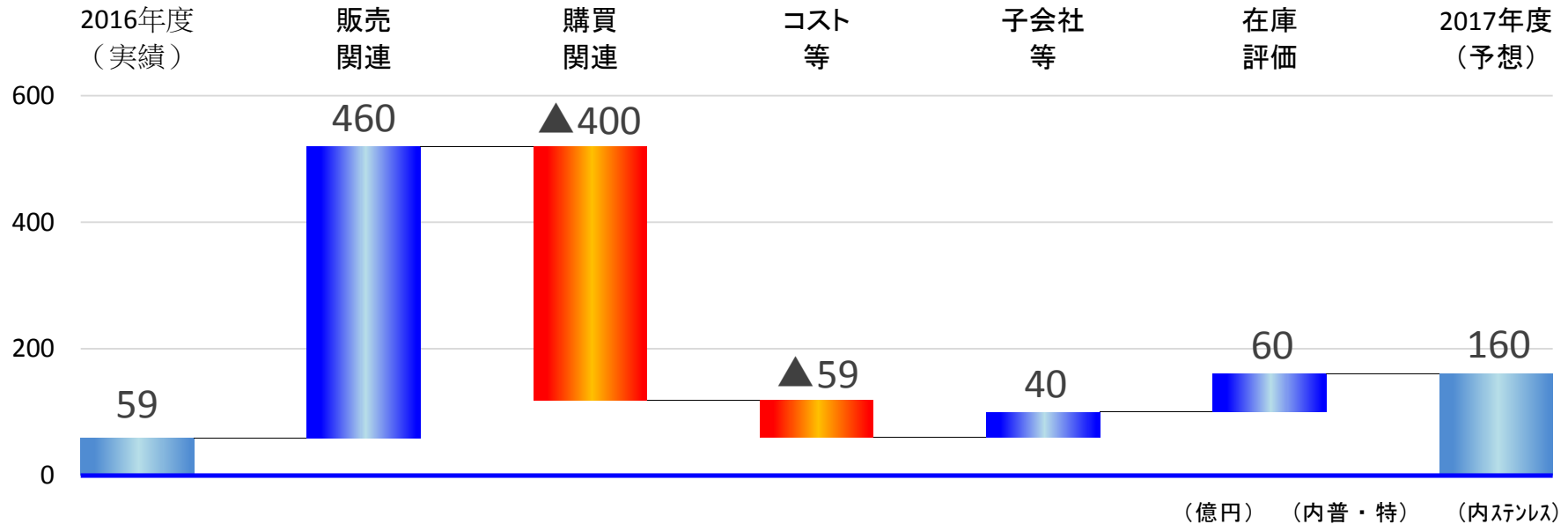
0	11
▲ 20	30
▲ 20	41

2017年度業績予想諸元

		No	2017年度(予想)			2016年度 (実績) d	差異	
			上期 a	下期 b	c		① b-a	② c-d
粗鋼生産量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	1	146	146	292	294	0	▲ 2
	ステンレス	2	34	32	66	66	▲ 2	0
	計	3	180	178	358	360	▲ 2	▲ 2
販売数量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	4	152	155	307	308	3	▲ 1
	ステンレス	5	28	27	55	53	▲ 1	2
	計	6	180	182	362	361	2	1
鋼材平均単価 (千円/トン)		7	129	121	125	109	▲ 8	16
輸出比率 (金額ベース, %)		8	14	13	13	15	▲ 1	▲ 2
輸出為替レート (円/ドル)		9	113	110	112	108	▲ 3	4

経常利益差異内訳

2016年度通期(実績):2017年度通期(予想)



2016年度通期(実績)		59	変動要因	104	▲45
変動 要因	販売関連	460	価格差 410、輸出為替差 20、数量構成差 30	320	140
	購買関連	▲400	鉄鉱石▲80、石炭▲120、油類▲20、ニッケル原料▲15、 クロム▲65、輸入為替差▲60	▲270	▲130
	コスト等	▲59	減価償却方法変更影響▲50、電力単価▲15	▲39	▲20
	子会社等	40	海外グループ会社等	0	40
	在庫評価	60	▲10→50 (内ステンス▲35→20)	5	55
	計	101		16	85
2017年度通期(予想)		160		120	40

剰余金の配当

- ◆ 1株当たり15.0円の間配当を実施予定。
なお、期末配当については、現時点で未定。

【利益配分に関する基本方針】

連結業績に応じた適切な剰余金の配当を実施していくことを基本に、企業価値向上に向けた今後の事業展開に必要な内部留保の確保および今後の業績見通しを踏まえた株主還元を実施する方針とする。「利益の配分」の指標としては、連結配当性向年間20～30%を目安とする。

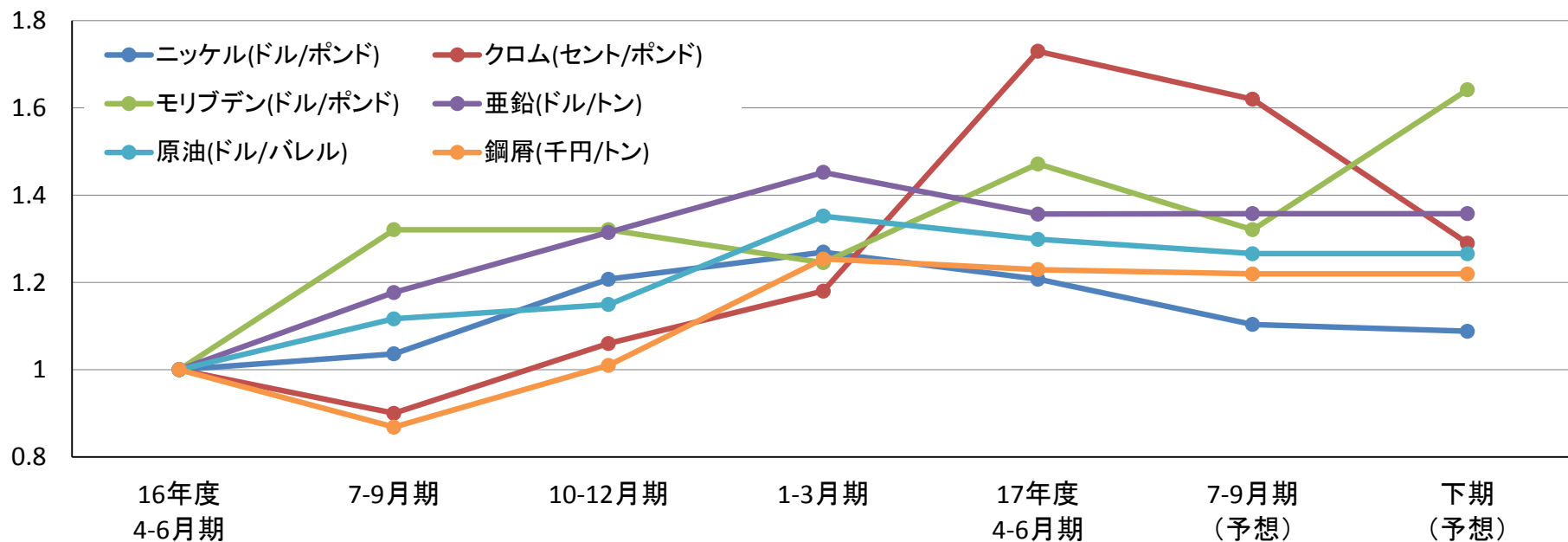
(ご参考)
主要データ



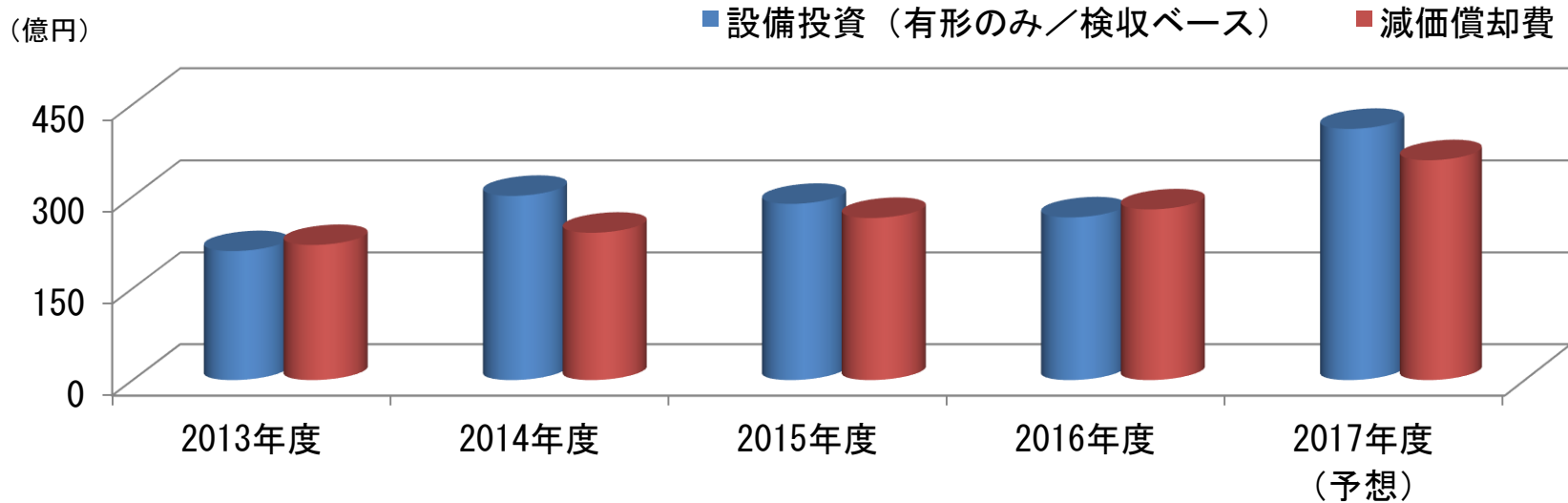
購買市況(適用ベース)

	2016年度							2017年度				
	上期			下期			平均	上期			下期	
	4-6月	7-9月	平均	10-12月	1-3月	平均		4-6月	7-9月(予想)	平均(予想)	平均(予想)	平均(予想)
ニッケル(ドル/ポンド)	3.86	4.00	3.93	4.66	4.90	4.78	4.36	4.66	4.26	4.46	4.20	4.33
クロム(セント/ポンド)	100.0	90.0	95.0	106.0	118.0	112.0	103.5	173.0	162.0	167.5	129.0	148.3
モリブデン(ドル/ポンド)	5.3	7.0	6.2	7.0	6.6	6.8	6.5	7.8	7.0	7.4	8.7	8.1
亜鉛(ドル/トン)	1,915	2,254	2,085	2,518	2,781	2,650	2,367	2,598	2,600	2,599	2,600	2,600
原油(ドル/バレル)	39.5	44.1	41.8	45.4	53.4	49.4	45.6	51.3	50.0	50.7	50.0	50.3
鋼屑(千円/トン)	20.5	17.8	19.2	20.7	25.7	23.2	21.2	25.2	25.0	25.1	25.0	25.1

購買市況の推移 (2016年度4-6月期を1.00)



設備投資・減価償却費



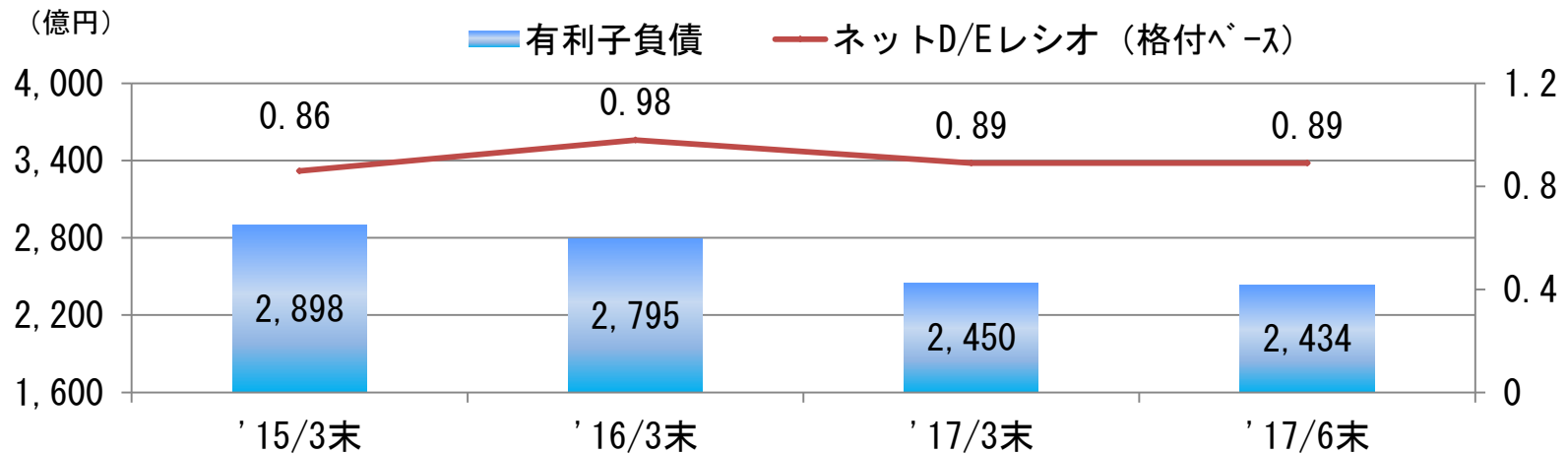
(億円)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度（予想）
設備投資	211	301	288	266	410
減価償却費	221	241	265	279	359

※設備投資額は有形のみ／検収ベース

(注) 2017年度より、減価償却方法を定額法から定率法に変更

有利子負債・ネットD/Eレシオ（格付けベース）



	'15/3末	'16/3末	'17/3末	'17/6末
手許預金 (億円)	263	314	167	134
有利子負債 (億円)	2,898	2,795	2,450	2,434
ネットD/Eレシオ	1.00	1.17	1.07	1.06
〃 (格付けベース) ※	0.86	0.98	0.89	0.89

※ 日本格付研究所の格付評価上、資本性が認められるハイブリッドローンについて元本（400億円）の50%を資本とみなした場合のネットD/Eレシオ